

岡部定一郎「福岡城寸描」(27)

1. 福岡城の構え

三の丸

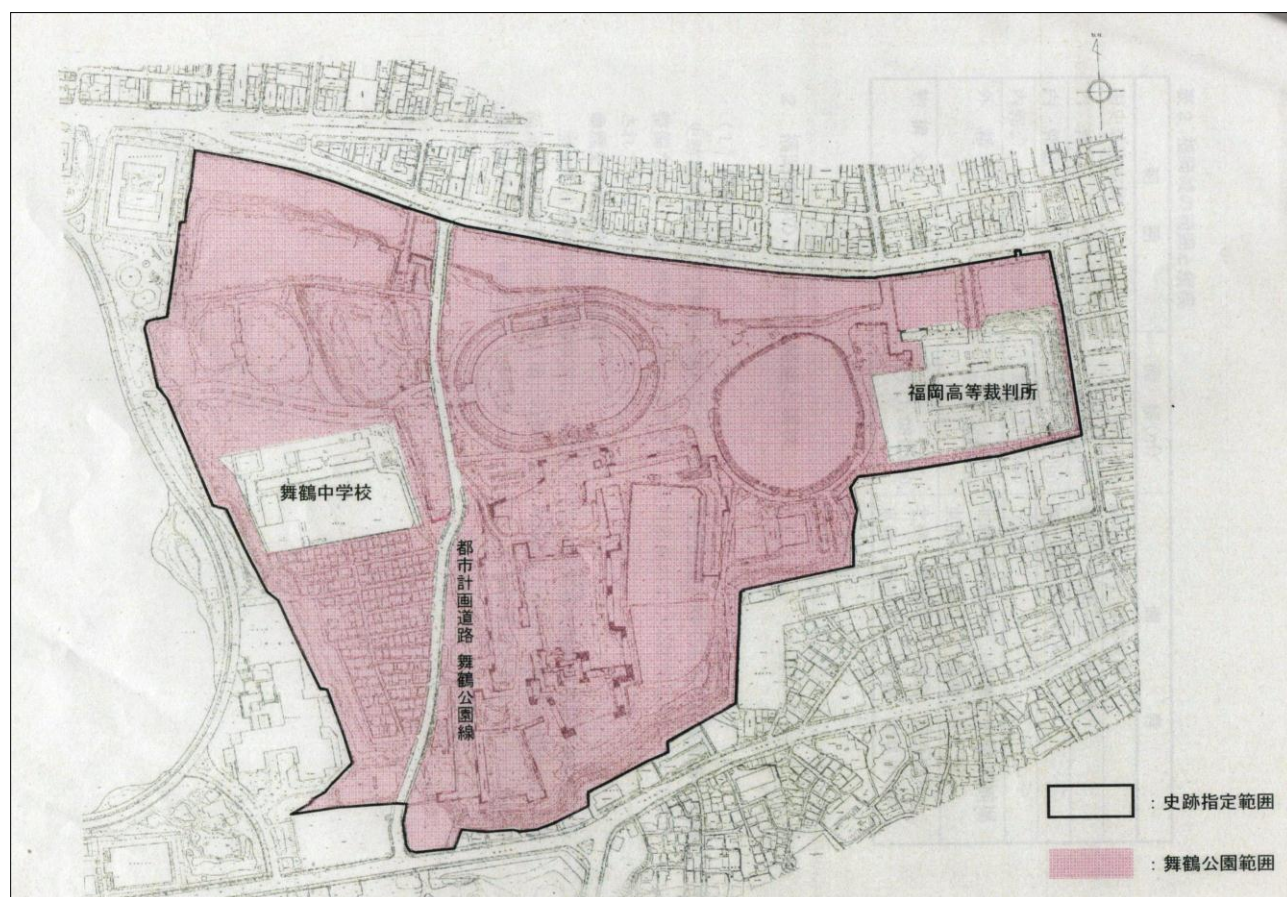
福岡城郭の総坪数は、81,900坪(約270,000㎡)であり、三の丸は、福岡城縄張図の中で一番大きな土台を構築している。全城周は4,614間(約8,390m)、堀周囲(三の丸外周)は、2,622間(約4,770m)と記されており、櫓47基、門10門を備える広大な城郭である。

なお、現在、国の史跡に指定されている面積は、483,000㎡である。

大休連山の地形を巧みに利用し、軍学書に言う理想的な「一二三段」と言われる構造であり、本丸が海拔23m、二の丸は16~18m、三の丸は5~8mの高さに位置している。

三の丸の西側には、藩主が生活する屋敷があり、今の平和台陸上競技場や球場跡あたりは、黒田家の重臣が居住する屋敷が8軒程並んでいた。

(「福岡城の構え」終わり)



黒枠内 : 史跡指定範囲 舞鶴公園範囲

福岡城縄張図



- | | |
|--------|-----------------|
| 1 大天守台 | 7 長局 |
| 2 中天守台 | 8 伊之助櫓 |
| 3 小天守台 | 9 時計櫓 |
| 4 武具櫓 | 10 御祈念櫓(大正寺に移築) |
| 5 御櫓 | 11 月見櫓(崇福寺に移築) |
| 6 鉄砲櫓 | 12 向櫓 |
| | 13 大組櫓 |
| | 14 松原櫓 |
| | 15 御櫓 |
| | 16 炭櫓 |
| | 17 南三階櫓(現存、重文) |
| | 18 多聞櫓(現存、重文) |
| | 19 花見櫓(崇福寺に移築) |
| | 20 朝見櫓(現存) |

福岡城縄張図